

第3期 のしろ創生総合戦略

数値目標・重要業績評価指標(KPI)・参考指標

◎数値目標

…4つの基本目標それぞれについて、達成度合いを検証するために設定する目標

◎重要業績評価指標(Key Performance Indicator)

…施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

◎重要検証指標

…均衡のとれた人口構成の実現に向けて重要となる社会増減と自然増減の推移を把握する

◎参考指標

…施策ごとに掲げられた事項の進捗状況を検証するために参考とすべき指標で、目標は設定せず推移を把握する

能代市 企画部 移住定住推進課

令和8年2月

<p>基本目標1 多様なニーズに応える雇用機会と労働環境をつくる</p> <p>数値目標 (1)新規高等学校卒業者就職率</p> <p>1-1 産業全般における担い手確保</p> <p>KPI (2)地元企業人材育成支援事業の利用者数</p> <p>KPI (3)インターンシップ等受け入れ登録企業数</p> <p>KPI (4)市求人サイト掲載求人への応募件数</p> <p>参考指標 (5)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数</p> <p>参考指標 (6)企業マッチングイベントへの参加回数</p> <p>参考指標 (7)就労を目的とする主な在留資格を有する市民の数</p> <p>1-2 次世代エネルギー関連産業の創出・振興</p> <p>KPI (8)再生可能エネルギー導入量</p> <p>参考指標 (9)能代港の取扱貨物量</p> <p>1-3 既存産業の魅力向上と新事業創出</p> <p>KPI (10)戦略作物5品目の生産出荷額</p> <p>KPI (11)新規就農者数</p> <p>KPI (12)新規農業法人数</p> <p>KPI (13)秋田スギの温もり補助金利用件数</p> <p>KPI (14)創業者数</p> <p>KPI (15)新設、増設企業数</p> <p>参考指標 (16)30a以上区画のほ場整備率</p> <p>参考指標 (17)畑作等拡大総合支援事業費補助金利用件数</p> <p>参考指標 (18)中小企業融資あっせん制度利用件数</p>
<p>基本目標2 能代への定着・回帰と新しい人の流れをつくる</p> <p>数値目標 (19)市への相談を経て移住した世帯数</p> <p>2-1 地元定着とふるさと回帰の推進</p> <p>KPI (20)移住相談件数のうちUターンした世帯数</p> <p>KPI (21)地元企業就職説明会等への延べ参加者数</p> <p>参考指標 (22)移住定住相談窓口SNSフォロワー数</p> <p>参考指標 (23)女性の移住者数</p> <p>2-2 能代での新たな暮らしの推進</p> <p>KPI (24)移住相談件数のうちI・Jターンした世帯数</p> <p>KPI (25)移住体験ツアー参加世帯数</p> <p>参考指標 (26)移住相談件数のうち移住フェア等で対応した件数</p> <p>参考指標 (27)地域おこし協力隊の退任後の定住率</p> <p>2-3 移住定住促進に向けた情報発信・支援の充実</p> <p>KPI (28)移住相談件数</p> <p>KPI (29)空き家バンク物件の成約件数</p> <p>参考指標 (30)移住・就業支援金等利用者数</p> <p>2-4 地域資源を活用した関係人口の創出</p> <p>KPI (31)移住促進・関係人口創出補助金活用によるイベント参加者数</p> <p>KPI (32)ふるさと納税寄附額</p>
<p>基本目標3 出会い・結婚・出産・子育ての希望をかなえる地域をつくる</p> <p>数値目標 (33)婚姻率</p> <p>3-1 出会い・結婚の希望をかなえる</p> <p>KPI (34)男女の出会いや交流イベント等への参加人数</p> <p>KPI (35)あきた結婚支援センター入会者数</p> <p>参考指標 (36)あきた結婚支援センター会員団体数</p> <p>参考指標 (37)結婚祝い金交付件数</p> <p>参考指標 (38)結婚新生活支援事業補助金交付件数</p> <p>3-2 妊娠・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>KPI (39)子育て支援センター利用者数</p> <p>参考指標 (40)子育て情報発信アプリ登録者数</p>
<p>基本目標4 安心な暮らしと魅力あるまちをつくる</p> <p>数値目標 (41)自主防災組織設置率</p> <p>4-1 生活機能の向上と安心・安全の地域づくり</p> <p>KPI (42)市民活動支援センター登録団体数</p> <p>KPI (43)公共交通の延べ利用者数</p> <p>参考指標 (44)市民まちづくり活動支援事業応募件数</p> <p>参考指標 (45)市と近隣町が連携・協力している事業数</p> <p>参考指標 (46)地域と連携して防災訓練等を実施する学校の割合</p> <p>4-2 まちの魅力向上とにぎわいの創出</p> <p>KPI (47)観光客入込客数</p> <p>KPI (48)宿泊客数</p> <p>参考指標 (49)地産地消協力店数</p> <p>参考指標 (50)空き店舗等の利活用件数</p> <p>4-3 郷土愛・シビックプライドの醸成</p> <p>KPI (51)市民意識調査で「能代市を好きだと思う。」と回答した人の割合</p> <p>4-4 多様な社会の実現</p> <p>KPI (52)市が設置する審議会や委員会等の女性委員の割合</p> <p>参考指標 (53)女性就業率</p> <p>参考指標 (54)市民意識調査で「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定した考え方には反対だと思う。」と回答した人の割合</p>

基本目標1 多様なニーズに応える雇用機会と労働環境をつくる

NO	種別	項目	基準年(度)	実績値	単位	R6年(度)目標値	R7年(度)目標値	R8年(度)目標値	R9年(度)目標値	R10年(度)目標値	実績値の算出方法	R10目標値設定の考え方	備考
1	数値目標	新規高等学校卒業業者就職率(能代山本)	R5年度	45.0	%	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	ハローワーク統計資料	近年の業績及び他市の状況を踏まえ目標を設定。	2期戦略の基本目標2のKPIから移動
2	KPI	地元企業人材育成支援事業の利用者数	R5年度	98	人	100	105	110	115	120	実数把握	近年の実績を踏まえ目標を設定。	継続
3	KPI	インターンシップ等受け入れ登録企業数	R5年度	100	社	100	105	110	115	120	市HPに掲載しているインターンシップ等の受入企業数	毎年度5社の増加を見込み、R10に120社を目標とする。	2期戦略の基本目標2のKPIから移動
4	KPI	市求人サイト掲載求人への応募件数	R5年度	95	件	100	105	110	115	120	実数把握	近年の実績を踏まえ目標を設定。	*新規
5	参考指標	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数	R5年度	34	社	—	—	—	—	—	地域ごとの件数や個別事業所名は非公表のため、秋田労働局へ確認。	—	2期戦略の基本目標3のKPIから移動
6	参考指標	企業マッチングイベントへの参加回数	R5年度	3	回	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
7	参考指標	就労を目的とする主な在留資格を有する市民の数	R5年度	173	人	—	—	—	—	—	10月末の「技能実習」「特定技能」「技能人国」	—	*新規
8	KPI	再生可能エネルギー導入量	R5年度	162,793	kW	231,193	239,593	248,593	248,593	408,593	能代市内に導入された一定規模以上の再生可能エネルギーによる発電所の出力の合計 <ul style="list-style-type: none"> ・風力 → 20kW以上 ・太陽光 → 1,000kW以上 ・バイオマス発電 → すべて 	現在計画されている風力発電事業において、運転開始予定が示されているものを積算。 R6:木質バイオマス発電 +3,000kW R7:森風バイオマス発電 +71,400kW R8:中国木材バイオマス発電 +8,400kW R9:能代三種男鹿バイオマス発電 +9,000kW R10:能代三種男鹿バイオマス発電 +160,000kW	継続
9	参考指標	能代港の取扱貨物量(能代火力発電所専用栈橋を除く)	R5年度	635,788	トン	661,788	687,788	713,788	739,788	765,788	秋田県港湾統計年報の海上出入貨物の港湾取扱貨物量	過去10年間の実績等を踏まえ、毎年度26,000トンの増を目標。	継続
10	KPI	戦略作物5品目の生産出荷額	R5年度	1,887	百万円	2,320	2,370	2,420	2,470	2,520	実数把握	実績値をもとに、年度50百万円の増を目標。	継続
11	KPI	新規就農者数	R5年度	18	人	10	10	10	10	10	県による「新規就農者等調査」のうち、要件合致者を抽出	毎年度10人を目標。	継続
12	KPI	新規農業法人数	R5年度	2	法人	2	2	2	2	2	実数把握	毎年度2法人を目標。	継続

基本目標1 多様なニーズに応える雇用機会と労働環境をつくる

NO	種別	項目	基準年 (度)	実績値	単位	R6年 (度) 目 標値	R7年 (度) 目 標値	R8年 (度) 目 標値	R9年 (度) 目 標値	R10年 (度) 目 標値	実績値の算出方法	R10目標値設定の考え方	備考
13	K P I	秋田スギの温もり補助金利 用件数	R5年度	17	件	17	17	17	17	17	実数把握	予算額5,000千円÷300千 円(1件あたり上限)＝ 16.66..≒17件を維持	継続 事業名称→補 助金名称
14	K P I	創業者数	R5年度	9	人	8	8	8	8	8	実数把握	近年の実績を踏まえ目標 値を設定。	継続
15	K P I	新設、増設企業数	R5年度	2	件	2	2	2	2	2	能代市商工業振興促進条 例奨励措置の適用関係企 業のうち、新設、増設し た企業数。	毎年度2件の新規・増設 を目標。	継続
16	参考指標	30a以上区画のほ場整備率	R5年度	72.1	%	—	—	—	—	—	実数把握	—	継続
17	参考指標	畑作等拡大総合支援事業費 補助金利用件数	R5年度	92	件	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
18	参考指標	中小企業融資あっせん制度 利用件数	R5年度	113	件	—	—	—	—	—	実数把握	—	継続

基本目標2 能代への定着・回帰と新しい人の流れをつくる

NO	種別	項目	基準年(度)	実績値	単位	R6年(度)目標値	R7年(度)目標値	R8年(度)目標値	R9年(度)目標値	R10年(度)目標値	実績値の算出方法	R10目標値設定の考え方	備考
19	数値目標	市への相談を経て移住した世帯数	R5年度	66	世帯	72	74	78	80	80	実数把握	R9年度に80を目標とし、その後は維持	継続
20	K P I	移住相談件数のうちUターンした世帯数	R5年度	37	世帯	40	41	44	45	45	実数把握	R5のUターン割合56.0%を維持	継続
21	K P I	地元企業就職説明会等への延べ参加者数	R5年度	856	人	859	864	870	876	876	・高校生企業・業種ガイダンス・中学生ふるさと企業説明会合算値(R5 752) ・「移住就業フェア」(R5 104)の参加人数の合算	・R5実績 750を維持 ・R5から105%で推移、R9以降126で維持	参考指標 →K P I
22	参考指標	移住定住相談窓口SNSフォロー数	R5年度	1,819	件	—	—	—	—	—	概ね9月末実績 R5:LINE1139, X420, YOUTUBE260	—	*新規
23	参考指標	女性の移住者数(未成年者を除く)	R5年度	37	人	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
24	K P I	移住相談件数のうちI・Jターンした世帯数	R5年度	29	世帯	32	33	34	35	35	実数把握	R5のI・Jターン割合44.0%を維持	継続
25	K P I	移住体験ツアー参加世帯数	R5年度	17	世帯	17	17	17	17	17	実数把握	R5実績を維持	参考指標→K P I
26	参考指標	移住相談件数のうち移住フェア等で対応した件数	R5年度	108	人	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
27	参考指標	地域おこし協力隊の退任後の定住率	R5年度	53.3	%	—	—	—	—	—	実数把握 15人中8人	—	協力隊の人数→退任後の定住率
28	K P I	移住相談件数	R5年度	292	件	300	310	320	330	330	実数把握	R9まで概ね103%(R4-R5伸び率)で推移。以降維持。	継続
29	K P I	空き家バンク物件の成約件数	R5年度	18	件	18	18	18	18	18	実数把握	R5実績を維持	新規登録件数→成約件数
30	参考指標	移住・就業支援金等利用者数	R5年度	34	人	—	—	—	—	—	実数把握	—	若年世帯移住定住奨励金利用件数→3種計
31	K P I	移住促進・関係人口創出補助金活用によるイベント参加者数	R5年度	— (06開始)	人	140	180	180	180	180	実数把握	R7以降は30人×6回で維持	*新規
32	K P I	ふるさと納税寄付額	R5年度	230	百万円	399	464	530	595	660	実数把握	過去最高の令和4年度実績(330百万円)の2倍程度を目指す。	*新規

基本目標3 出会い・結婚・出産・子育ての希望をかなえる地域をつくる

NO	種別	項目	基準年 (度)	実績値	単位	R6年 (度) 目標値	R7年 (度) 目標値	R8年 (度) 目標値	R9年 (度) 目標値	R10年 (度) 目標値	実績値の算出方法	R10目標値設定の考え方	備考
33	数値目標	婚姻率 (人口千人あたり)	(R4)	2.3	組	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	年間婚姻件数÷10/1人口 ×1000	R4の水準を維持	件数→率
34	K P I	男女の出会いや交流イベント等への参加人数	R5年度	171	人	110	110	110	110	110	能代市出会い創出支援事業等の対象イベントによる実数把握	R4-6月込み平均値を維持 (89+171+69) ÷3	継続
35	K P I	あきた結婚支援センター入会者数	R5年度	16	人	20	20	20	20	20	実数把握	R3-5平均値を維持	継続
36	参考指標	あきた結婚支援センター会員団体数	R5年度	12	団体・ 企業	—	—	—	—	—	実数把握	—	継続
37	参考指標	結婚祝い金交付件数	R5年度	80	件	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
38	参考指標	結婚新生活支援事業補助金交付件数	R5年度	17	件	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
39	K P I	子育て支援センター利用者数	R5年度	13,893	人	12,900	11,978	11,552	11,727	10,974	能代地区と二ツ井地区、つどの広場の実績計	こども計画における、ニーズ調査を基にした地域子育て支援拠点事業の確保方策を目標値とした。	継続
40	参考指標	子育て情報発信アプリ登録者数	R5年度	344	件	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規

基本目標4 安心な暮らしと魅力あるまちをつくる

NO	種別	項目	基準年 (年度)	実績値	単位	R6年 (年度) 目標値	R7年 (年度) 目標値	R8年 (年度) 目標値	R9年 (年度) 目標値	R10年 (年度) 目標値	実績値の算出方法	R10目標値設定の考え方	備考
41	数値目標	自主防災組織設置率	R5年度	58.6	%	60.0	61.4	62.9	64.4	65.8	総合防災課の把握による 組織設置率を目標値で除 した数	令和6年度から年間5組織を 立ち上げ目標値とする	継続
42	KPI	市民活動支援センター登録 団体数	R5年度	102	団体	100	100	100	100	100	市民活動支援センター活 動状況による 毎年度末の登録団体数	総合計画の目標値 (R9年 度100団体) に準拠	継続
43	KPI	公共交通の延べ利用者数	R5年度	249,478	人	240,000人 以上	240,000人 以上	240,000人 以上	240,000人 以上	240,000人 以上	各年度の最も多い人数を 実績値とする (各課状況 調査)	地域公共交通計画に準ず る。	*新規
44	参考指標	市民まちづくり活動支援事 業応募件数	R5年度	9	件	—	—	—	—	—	実数把握	—	継続
45	参考指標	市と近隣町が連携・協力し ている事業数	R5年度	36	事業	—	—	—	—	—	実数把握	—	継続 (新規事業数→実施事 業数)
46	参考指標	地域と連携して防災訓練等 を実施する学校の割合	R5年度	84.6	%	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
47	KPI	観光客入込客数	R5年度	1,675,244	人	1,800,000	2,000,000	2,200,000	2,435,000	2,435,000	観光振興課調べ	インバウンド需要をある程度 取り込めたとしても、国内旅 行客は減っていくことから、 よほどの投資をして変革しな ければ、既存の観光資源だけ で増加させていくことは難し い。R9を維持とすることが現 实的。	継続 2期戦略基本目 標1のKPIから 移動
48	KPI	宿泊客数	R5年度	144,529人	人	150,000	155,000	160,000	164,000	164,000	観光振興課調べ	宿泊施設の客数は増加傾向に あり、洋上風力プロジェクト も2つ控えていることから、 ある程度伸びていくことが期 待できるが、観光客入込客数 の理由と同じくR9維持とす る。	継続 2期戦略基本目 標1のKPIから 移動
49	参考指標	地産地消協力店数	R5年度	61	店	—	—	—	—	—	実数把握	—	継続
50	参考指標	空き店舗等の利活用件数	R5年度	2	件	—	—	—	—	—	実数把握	—	継続
51	KPI	市民意識調査で「能代市を 好きだと思う。」と回答し た人の割合	R5年度	58.9	%	60.7	62.5	64.4	66.3	68.3	実数把握	市民意識調査 R5新規 年103%推移	*新規
52	KPI	市が設置する審議会や委員 会等の女性委員の割合	R5年度	42.8	%	43.5	44.0	44.5	45.0	45.5	実数把握 (10/1現在)	男女共同参画計画の目標 値 (R9年度45.0%) に準 拠	*新規
53	参考指標	女性就業率 (市民意識調 査)	R5年度	62.4	%	—	—	—	—	—	実数把握	—	*新規
54	参考指標	市民意識調査で「男は仕 事、女は家庭」といった性 別による固定した考え方に は反対だと思う。」と回答 した人の割合	R5年度	77.5	%	—	—	—	—	—	地域情報課調べ	—	*新規